

立憲民主党
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル 3F
TEL. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302



号外
RIKKEN
MINSHU
北海道第6区
総支部版 号外
2021年7月

立憲民主党
北海道第6区総支部
●連絡先●
〒070-0031
北海道旭川市1条通4丁目右6号
TEL0166-24-3201 FAX0166-23-9408
Email: office@minshu6k.com

「第204回通常国会を振り返って」

新型コロナウイルス感染症により、不要不急の外出の制限など、何事にも自粛を余儀なくされる中で、暮らしの安全安心を守るためにご尽力頂いております皆様に敬意と感謝を申し上げます。

第204回通常国会が、野党の延長要求を否決して150日間で閉会しました。今国会における提出閣法は63本でしたが、現政権の実績づくりともいえる「デジタル関連法」や「地球温暖化対策推進法改正」など61本が成立しており、総選挙を意識して提出法案を絞り込んだ結果であります。成立を断念した法案は、入管施設でスリランカ女性死亡した事案を巡り断念した「入管法改正案」と、総務省の接待問題や外資規制違反が相次いだ「放送法改正案」が不成立となりました。

それにも増して前政権からの国会対応は、立法府軽視・国民軽視の姿勢であると言わざるを得ません。総理は『お答えを控える』『申し訳ない』『今申し上げた通り』などを繰り返し、何も答えようとしない「ごはん論法」や「やぎさん答弁」に終始し、東北新社の外資系違反問題では、武田大臣の指示で総務省幹部は『記憶にございません』を、土地規制法審議で規制対象地域について、内閣官房や防衛省幹部は『リストはない』を繰り返しました。入管法議論で法務省はビデオ開示を拒んだりするなど、安倍政権以来の国会軽視で無理がまかり通り、行政の中立性が失われています。政府・与党のコロナ対策は後手後手に回り、そのことを隠すかのように菅総理は国会軽視の姿勢に終始しています。その姿勢は政府全体に広がっており、政治を真剣に変えねばならない局面が来ています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



立憲民主党北海道第6区総支部代表
衆議院議員 佐々木隆博

ご挨拶 「高く、広く」

私ささき隆博は、6月24日に開催をさせていただきました後援会連合会総会で、今限りで政治活動の「引退」を表明させていただきました。

私は、昭和62年(1987)4月、北海道議会議員に立候補し、政治の道に参画させていただき、北海道議会議員を2005年まで、5期18年余務めさせていただきました。

2005年8月の郵政解散により、佐々木秀典さんの後を受けて、衆議院議員に挑戦することとなり、現職との闘いでしたが、お陰様で初当選を果たすことが出来ました。

2009年には「政権交代」を実現し、農林水産大臣政務官、農林水産副大臣を担わせて頂くことが出来、農政中心に活動してきた私にとって「戸別所得補償」の実現など貴重な体験をさせていただきました。

2017年には「立憲民主党」の結党に参画させていただき、今日まで4期14年間、国会議員として国政に参画させて頂くことが出来ました。あらためて皆様に感謝申し上げます。

道議会では、会派政審会長、民主党道連幹事長、会派議員会長を、国政では、民主党、民進党、立憲民主党道連代表、そして立憲民主党副代表を務めさせていただきました。

私は、運動家から政治に参画しましたが、「山は高くなければ、すそ野は広くならない」との信念で、チャレンジし続けてきたつもりです。お陰様で、多くの仲間が管内・全道各地で活躍しています。

運動は「新陳代謝」がなければ継続しません。私たちの積み上げてきた運動は、皆で力を合わせて、しっかりと次の時代に繋いでいかなければなりません。

議員として34年間の長きに亘り務めさせていただくことが出来ましたのも、管内の皆さまのご支援の賜であり、心から感謝とお礼を申し上げます。

ありがとうございました。



佐々木隆博

衆議院議員 ささき隆博 写真で見る活動報告

日々の取組をお伝えしています

